

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2020年												2021年									
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~3日	1月 ~10日	1月 ~17日	1月 ~24日	1月 ~31日	2月 ~7日	2月 ~14日	2月 ~21日	2月 ~28日	3月 ~7日
カンピロバクター	42	46	55	54	92	177	241	189	97	132	148	125	10	27	31	21	25	14	10	14	27	28
病原性大腸菌	22	34	39	30	24	63	60	76	52	42	41	52	2	13	7	11	6	11	6	6	1 (2)	6
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	4	0	2	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
サルモネラ	4	1	2	4	10	7	14	29	16	10	10	3	0	1	2	2	1	2	0	0	3	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	20	11	3	9	15	15	20	13	17	18	12	2	1	5	2	4	6	4	4	2	6
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	11	17	8	14	14	11	17	9	10	11	9	0	4	4	2	0	4	2	2	2	2
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	1	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
ロタウイルス	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	10	14	6	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	3	0	1	0	0	0	1	4	1

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和3年第9週(3月1日~3月7日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7	1				2		4
三類	0	発生なし	0							
四類	2	重症熱性血小板減少症候群	1					1		
		レジオネラ症	1					1		
五類	8	急性脳炎	2		1			1		
		梅毒	6					2		4
新型インフルエンザ等感染症	23	新型コロナウイルス感染症	23	0	3	1	0	15	0	4

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世理町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1. 新型コロナウイルス感染症

第9週に合計15件の報告がありました。また、3月9日現在、広島市では変異株PCR検査陽性が13件確認されています(このうち7件は、英国において報告された変異株であると確定)。

新型コロナウイルス変異株は、地域で広く流行している状況ではないものの、感染力が従来よりも強い可能性があり、注意が必要です。変異株であっても、これまで同様に基本的な感染対策が有効です。健康管理に注意し、「3密」の回避、マスク着用や手洗いなどの感染対策をより一層徹底しましょう。また、発熱や咳などの症状があるときは、仕事や学校を休み、かかりつけ医やコールセンター(積極ガードダイヤル)TEL:082-241-4566 に連絡・相談しましょう。
 【参考】新型コロナウイルス感染症に関する情報/3月9日 記者発表資料より(広島市)

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/186948.html>

2. 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)

今年初めて1件報告されました。

3. 感染性胃腸炎

定点当たり5.71人の報告があり、前週(4.88人)と比べてやや増加しました。広島県内では、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生が増加しており、注意が必要です。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など感染対策を徹底しましょう。

【参考】ノロウイルスに関するQ&A(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)過去5年間	発生記号
フィリ	インフルエンザ	-	-	14.22		小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.19	
小児科	咽頭結膜熱	4	0.17	0.26		眼科	RSウイルス感染症	1	0.04	0.47	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	0.54	2.83			急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	137	5.71	7.29			流行性角結膜炎	4	0.50	0.45	
	水痘	1	0.04	0.36			細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	3	0.13	0.10		基幹	無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.57			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.23	
	突発性発しん	6	0.25	0.29			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	4	0.17	0.06			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.97	

急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減		前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減		前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	18	50歳代、70歳代
4	重症熱性血小板減少症候群	1	1	70歳代
4	レジオネラ症	1	5	80歳代
5	急性脳炎	1	1	10歳未満
5	梅毒	2	7	20歳代、60歳代